

令和6年度 東京学芸大学大学院教育学研究科 入学試験

試験区分	一般選抜	○	科目	教育協働に関する論述	<table border="1"> <tr> <th colspan="5">受験番号</th> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	受験番号									
	受験番号														
	現職教員選抜	○	対象	教育協働研究プログラム											
	社会人選抜	○													
外国人留学生等選抜	○														
教育支援人材特別選抜	○														

【問】 文部科学省は、「地域学校協働活動」について、次のように説明している。

「地域学校協働活動」とは、地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。

子供の成長を軸として、地域と学校がパートナーとして連携・協働し、意見を出し合い学び合う中で、地域の将来を担う人材の育成を図るとともに、地域住民のつながりを深め、自立した地域社会の基盤の構築・活性化を図る「学校を核とした地域づくり」を推進し、地域の創生につながっていくことが期待されます。例えば、子供たちが地域に出て行って郷土学習を行ったり、地域住民と共に地域課題を解決したり、地域の行事に参画して共に地域づくりに関わるといった活動が挙げられます。

文部科学省. “地域学校協働活動”. 学校と地域でつくる学びの未来. 2023. <https://manabi-mirai.mext.go.jp/torikumi/chiiki-gakko/kyodo.html>, (参照 2023-9-7)

この説明を踏まえ、あなたが希望している専門領域（生涯学習／文化遺産教育／ソーシャルワーク／生涯スポーツ／多文化共生教育／表現教育／アート／デザイン／教育行政のいずれか）において実現可能な活動について、連携や協働に着目して、日本語で論じなさい。なお、解答欄が不足する場合は裏面も利用してよい。

【解答欄】

<解答のポイント>

- ・提案された活動が、実現可能なものであり、かつ具体性を持っていること。
- ・提案された活動に関して想定される効果や問題点について、十分に検討されていること。
- ・連携・協働をキーワードとして、解答者の考えが述べられていること。
- ・論述が、論理的・整合的かつ明快であること。